

2008 年

1. 論文

- Onuoha F N, Munakata T, Serumaga-Zake P A E, Nyonyintono R M, Bogere S M: Negative Mental Health Factors in Children Orphaned by AIDS Natural Mentoring as a Palliative Care. AIDS and Behavior, AIDS Behav 13: 980-988, 2008.
- Maeda T, Kurihara H, Morishima I, Munakata T: The Effect of Psychological Intervention on Personality Change, Coping, and Psychological Distress of Japanese Primary Breast Cancer Patients, CANCER NURSING 31(4): E27-E35, 2008.
- Kubota T, Ohmori H, Munakata T: Relationship Between Physical Activity Level and Self-Efficacy for Exercise on University Students. 日本精神保健社会学会年報, 13: 21-27, 2008.
- Kubota T, Munakata T: Relationship between Life Skills and Stress Response in University Students. 日本精神保健社会学会年報, 14: 41-46, 2008.
- Kubota T, Sugiyama K, Iwaihara Y, Munakata T: Relationship between Self-Esteem and Self-Efficacy for Exercise in University Students. 日本精神保健社会学会年報, 14: 47-52, 2008.
- Munakata T: Toward a Theory of Integrative Imagery Health. Proceedings of the 5th International Conference of Health Behavioral Science, The Executive Committee of the 5th International Conference of Health Behavioral Science 2006, 34-54, 2008.
- Higuchi N, Hashimoto S, Higuchi H, Munakata T: The Relationships between Japanese Workers' Social Skill, Perceived Emotional Support, Self-Image and Mental Health, Executive Committee of the 5th International Conference of Health Behavioral Science 2006, 195-201, 2008.
- Tanaka K, Munakata T: Examining Effects of Human Relation Skill Using Genetic Temperament Concept on Stress Management: 3-month-followup Intervention. INTERNATIONAL JOURNAL OF STRUCTURED ASSOCIATION TECHNIQUE, 2: 36-62, 2008.
- Kobayashi K, Munakata T: Shift in Frequency of Voice Accompanied with Emotional Change in a change in a Cancer Patient. INTERNATIONAL JOURNAL OF STRUCTURED ASSOCIATION TECHNIQUE, 2: 63-75, 2008.
- Maeda T, Munakata T: The effect of appropriate eating habits, depressives state, and social support on postoperative symptom experience among Japanese postgastrectomy patients. Gastroenterology Nursing, 31(6): 423-9, 2008.
- 宗像恒次: 生き方革命をサポートする SAT の健康心理療法. ヘルスカウンセリング学会年報, 14: 1-10, 2008.
- 田中京子, 宗像恒次: 遺伝的気質理解に基づく人間関係スキルストレスのマネジメント効果—3ヶ月後追跡調査. ヘルスカウンセリング学会年報, 14: 57-64, 2008.
- 橋本佐由理, 奥富庸一, 宗像恒次: ヘルスカウンセリングセミナーの教育効果の評価 (第 14 報). ヘルスカウンセリング学会年報, 14: 65-85, 2008.
- 塩谷育子, 宗像恒次: アルコール依存症に対する SAT 療法による介入効果. ヘルスカウンセリング学会年報, 14: 101-109, 2008.
- 鈴木裕子, 宗像恒次: 労働者のメンタルヘルスに対する SAT メンタリング認知介入効果の検討. 日本精神保健社会学会年報, 14: 83-42, 2008.
- 宗像恒次: 行動変容支援カウンセリング. 腎不全看護, 中外製薬株式会社, No.16101: 9-14, 2008.
- 宗像恒次: ガンから家族を救う SAT 療法. ガンの自己治療を支援する, 日本ウエラー・ザン・ウエル学会, 6: 4-8, 2008.

2. 著書

- 宗像恒次: 感情と行動の大法則. 日総研, 1 - 215, 2008.
- 新行内勝善, 宗像恒次: 心豊かな存在としてニート・ひきこもり, 宗像恒次・武藤清栄編集, ニート・ひきこもりと親. 生活書院, 9-25, 2008.
- 滝澤武, 宗像恒次: ニートやひきこもりの親の不安傾向をつくる要因, 宗像恒次・武藤清栄編集, ニート・ひきこもりと親. 生活書院, 63-71, 2008.
- 窪田辰政, 宗像恒次: ニートやひきこもりの親のメンタルヘルス不調の因果分析, 宗像恒次・武藤清栄編集, ニート・ひきこもりと親. 生活書院, 72-84, 2008.
- 宗像恒次: DNA 気質理解で家族問題を解決する, 宗像恒次・武藤清栄編集, ニート・ひきこもりと親. 生活書院, 85-117, 2008.
- 吉田由加里, 橋本佐由理, 宗像恒次: 意欲と行動を引き出すケアマネ面接技法. 日総研, 1-215, 2008.

3. 口頭発表

- 窪田辰政, 野村良和, 橋本佐由理, 宗像恒次: 大学生の運動行動の変容段階と運動セルフ・エフィカシーの関連. 第 23 回日本保健医療行動科学学会, 山梨, 2008. 6.
- 窪田辰政, 宗像恒次: 大学生におけるライフスキルとストレス反応の関連. 第 15 回日本運動・スポーツ科学学会, 東京, 2008. 6.
- 窪田辰政, 杉山康司, 祝原豊, 宗像恒次: 大学生における自己価値感と運動セルフ・エフィカシーの関連. 第 27 回日本思春期学会講演, 千葉, 2008.
- 金子学, 針尾大嗣, 宗像恒次: SAT 法に基づくパーソナルケアシステム開発の試み. 第 25 回情報通信学会大会, 財団法人情報通信学会, 東京, 2008. 6.
- 金子学, 宗像恒次: ウェブ・ストレスマネジメント・システム開発の試み—SAT 法を活用して—. 第 23 回日本保健医療行動科学学会学術大会, 日本保健医療行動科学学会, 山梨, 2008. 6.
- 窪田辰政, 野村良和, 橋本佐由理, 宗像恒次: 大学生の運動行動の変容段階と運動セルフ・エフィカシーの関連—関東および東海地区の 3 大学の学生を対象にして—. 第 23 回日本保健医療行動科学学会学術大会, 日本保健医療行動科学学会, 山梨学院大学, 山梨, 2008. 6.
- 渡部洋子, 宗像恒次: ひきこもりの子どもを持つ母親への自己イメージ支援. 第 23 回日本保健医療行動科学学会学術大会, 日本保健医療行動科学学会, 山梨, 2008. 6.
- 中嶋一恵, 宗像恒次: 思春期の SAT 気質チェックリストの開発. 第 23 回日本保健医療行動科学学会学術大会, 日本保健医療行動科学学会, 山梨, 2008. 6.
- Onuoha F. N, 宗像恒次: エイズ孤児のメンタルヘルスとメンターケア. ヘルスカウンセリング学会 15 周年記念大会, 東京, 2008. 9.
- 小林啓一郎, 宗像恒次: 情緒変化に伴う音声周波数の変化, がん抑制遺伝子発現とストレスの関係の物理的定量化の試み. 第 7 回心と遺伝子研究会, 茨城, 2008. 8.

- ・ 宗像恒次, 小林啓一郎, 橋本佐由理, 林隆志, 坂本成子, 堀美代, 村上和雄, 帯津良一: 自己主張できる、笑顔の母親映像イメージ構築によるがん抑制遺伝子の顕著な発現症例—SAT 療法の遺伝子発現報告シリーズ—. 第7回心と遺伝子研究会, 茨城, 2008. 8.
- ・ 窪田辰政, 杉山康司, 祝原豊, 宗像恒次: 大学生における自己価値感と運動セルフ・エフィカシーの関連. 第27回日本思春期学会, 東京, 2008. 8.
- ・ 金子学, 宗像恒次, 針尾大嗣: カウンセリング法を活用したパーソナルケア情報システム開発の試み. 第10回日本感性工学会大会, 日本感性工学会, 東京, 2008. 9.
- ・ 宗像恒次: 「がん生存者とのホリスティックなコミュニケーション」. 第3回学術集会, 日本医療マネジメント学会 宮城地方会, 宮城, 2008. 7.
- ・ 瀬在泉, 稲垣幸司, 吉井千春, 加藤正人, 栗岡成人, 遠藤明, 大谷哲也, 宗像恒次: 中年期以降における喫煙者の喫煙に関する意識と喫煙関連指標及び主観的ストレス源認知との関連. 第3回日本禁煙学会, 広島, 2008. 8.
- ・ 瀬在泉, 稲垣幸司, 吉井千春, 加藤正人, 栗岡成人, 遠藤明, 大谷哲也, 宗像恒次: 中年期以降における喫煙状況と喫煙に関する意識及び主観的ストレス源認知との関連. 第3回日本禁煙学会, 広島, 2008. 8.
- ・ 宗像恒次: 基調講演「ヘルスカウンセリング革命—愉しむ生き方が健康社会をつくる—」. ヘルスカウンセリング学会 15周年記念大会, 東京, 2008. 9.
- ・ 高田裕光, 橋本佐由理, 宗像恒次: 社会福祉学学習者の SAT 法を活用したコミュニケーション研修効果分析(中間報告). ヘルスカウンセリング学会 15周年記念大会, 東京, 2008. 9.
- ・ 岩永由香, 橋本佐由理, 宗像恒次: 子育て中の母親のメンタルヘルスと夫婦への気質コーチング. ヘルスカウンセリング学会 15周年記念大会, 東京, 2008. 9.
- ・ 小澤かほる, 宗像恒次: 「産産・死産体験者の自己イメージスクリプト再構築支援への可能性」. ヘルスカウンセリング学会 15周年記念大会, 東京, 2008. 9.
- ・ 渡辺洋子, 宗像恒次: 青少年の引きこもり子どもを持つ母親の自己イメージ支援, SAT の気質コーチング法とイメージ療法を用いて. ヘルスカウンセリング学会 15周年記念大会, 東京, 2008. 9.
- ・ 中嶋一恵, 宗像恒次: 中学生の性格気質と心理特性の関連. ヘルスカウンセリング学会 15周年記念大会, 東京, 2008. 9.
- ・ 村上桐子, 樋口倫子, 中嶋一恵, 宗像恒次: がんサバイバーの SATDVD によるストレスマネジメント効果. ヘルスカウンセリング学会 15周年記念大会, 東京, 2008. 9.
- ・ 瀬在泉, 宗像恒次: 大学生喫煙者の禁煙関心度と自己イメージスクリプトとの関連. 第3回日本禁煙科学学会, 東京, 2008. 11.
- ・ 窪田辰政, 田中秀幸, 大森肇, 田崎健太郎, 宗像恒次: 中学生における運動行動の変容段階と運動セルフ・エフィカシーの関連. 第14回日本精神保健社会学会学術大会, 東京, 2008. 11.
- ・ 上田敏子, 宗像恒次: 授業を活用した大学生のメンタルヘルス向上に関するプログラムの検討. 第14回日本精神保健社会学会学術大会, 東京, 2008. 11.
- ・ 村上桐子, 樋口倫子, 中嶋一恵, 宗像恒次: がんサバイバーの SAT-DVD によるストレスマネジメント効果. 第14回日本精神保健社会学会学術大会, 東京, 2008. 11.
- ・ 宗像恒次: シンポジウム講演「笑顔のある社会をつくりたい—孤独型自立からコミュニケーション型自立へ」. 第14回日本精神保健社会学会学術大会, 東京, 2008. 11.

4. その他

- ・ 宗像恒次: web サイトがんサバイバーのための SAT 療法システム, <http://kokoro.hcs.tsukuba.ac.jp/>, 2008.
- ・ 宗像恒次, 木の実ナナ, コシノヒロコ, 茂木健一郎: いつまでも若さを保つ秘訣—あなたは脳を鍛えていますか? 日曜フォーラム. NHK教育テレビ, 2008年1月27日18時~19時放送.
- ・ 宗像恒次: 利尿薬の服薬に抵抗を示す患者さん, 心性浮腫. *Clinical Pharmacist*, 63(4): 12-13, 2008.
- ・ 宗像恒次: からだにいいこと, あの頃の「運命愛」は取り戻せる. (6): 64-66, 2008.
- ・ 宗像恒次, 田村和夫: がん患者さんとのコミュニケーション, 読本—がん化学療法の説明に生かす「行動科学」. 日本化薬, NO. CAN-3, 10-22, 2008.
- ・ 宗像恒次: ヘルスカウンセリング①~ヘルスカウンセリングはなぜ必要か. *Circle - 糖尿病診療の輪*, 7: 14-15, 2008.
- ・ 宗像恒次: 自分のDNA 気質を知って, より良く生きる. 音声 80分講演カセット POWER LECTURE, 暦日会, 2008.
- ・ 宗像恒次: 相手に期待していいこと. *INTRO・G*, 244(1): 24-27, 2008.
- ・ 宗像恒次: 人間関係のトラブルは幸福になるための試練. *INTRO・G*, 245(2): 24-27, 2008.
- ・ 宗像恒次: 話し上手とコミュニケーション上手は違う. *INTRO・G*, 246(3): 24-27, 2008.
- ・ 宗像恒次: 相手の気持ちが隠されたキーワードとキーメッセージに注目. *INTRO・G*, 247(4): 24-27, 2008.
- ・ 宗像恒次: 心の真っ白にして相手に寄り添う. これがルス人への極意. *INTRO・G*, 248(5): 24-27, 2008.
- ・ 宗像恒次: 相手がひとしきり話し終えたら上手に合の手を入れる. *INTRO・G*, 249(6): 24-27, 2008.
- ・ 宗像恒次: リスニング・スキルをマスターしたらきっと幸せな奇跡が起こります. *INTRO・G*, 250(7): 24-27, 2008.
- ・ 宗像恒次: 感情的にならないで言いたい事はきちんと伝える. *INTRO・G*, 251(8): 24-27, 2008.
- ・ 宗像恒次: 断るほうも、断られるほうも幸せな気分になれる会話術. *INTRO・G*, 252(9): 24-27, 2008.
- ・ 田嶋尚子, 宗像恒次: 患者さんの気質を知って効果的にアプローチする! 2型糖尿病治療を成功に導くコミュニケーションスキルアップBook, (8): 1-7, 2008.
- ・ 宗像恒次: 人間関係のヒント, 気持ちをラクにするコツ. 株式会社秀光社, 1-19, 2008.
- ・ 宗像恒次: セルフケアのヒント, たのしく、あったかく生きるコツ. 株式会社秀光社, 1-19, 2008.
- ・ 宗像恒次: 隠れてインスリン注射を打つ患者さん, 心性浮腫. *Clinical Pharmacist*, 65(10): 12-13, 2008.
- ・ 宗像恒次: 河川空間癒し効果指標検討業務報告書. 株式会社建設技術研究所, 1-81, 2008.
- ・ Munakata T, Onuoha F N, Serumaga-Zake P A E, Nyonyintono R M, Bogere S M: MENTORING CARE SYSTEM FOR AIDS ORPHANS IN AIDS STIGMATIZING SUB-SAHARA AFRICAN SOCIETIES: THE CASE OF SOUTH AFRICA AND UGANDA. 1-154, 2008.
- ・ 宗像恒次: カウンセリングアドバイス, 腰部脊柱管狭窄症—服薬指導ができない患者さん. *Clinical Pharmacist*, 64(8): 12-13, 2008.
- ・ 恩幣(佐佐木)宏美, 青木栄子, 島崎玲子, 嶋貫久美子, 田中由美子, 茶木裕子, 土屋和子, 小手田紀子, 宗像恒次: 「行動変容支援力カウンセリング」セミナー参加者へのアンケート調査. 腎不全看護, 15-16, 2008.
- ・ 宗像恒次: 薬や医療者への不信感が強い患者さん, 慢性腎不全. *Clinical Pharmacist*, 66(12): 12-13, 2008.